目標達成計画

作成日 : 平成 26年 6月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>
1		仃われていない局、てれらか日々のケアや事業 低運営に生かされていない	・職員は、家族から気軽に話しかけられたり相 談して頂ける様に、傾聴の姿勢を持つ。	・毎月、利用者毎の経過記録を送付する。 ・家族来所時は、日々の様子や状態をお話し、家 族の気持ちや要望の聞き取りを行う。 ・管理者は引き続き、各家族にお手紙を送付す る。また、行事や職員の入退職等の情報もこま めにお伝えする。	6 か月	
2	7	・職員は日々のケアにいるいると気付きがあるものの、伝える機会がなかったり、ケアに反映出来ない現実がある。また、職員全員で協働し、研鑚してい〈体制がまだまだ不十分である。	管理者は、職員の意見やアイディアの聞き取	・管理者は職員との対話や情報交換の機会を 日々持つ。 ・ミーティング時には、利用者のカンファレンスを 行い、気付きを伝えあう。	6 か月	
3	18	・利用者のその日の希望の聞き取りが出来ておらず、外出の機会が減っている。	・職員は、利用者の日々の希望等を聞き取り、	・利用者の言葉や表情などを個人別記録に落とし、希望や要望を拾いあげる。 ・玄関先や裏の畑、他事業所へ出掛けてみる。 また、近くの公園やお寺、お店など、少しずつ戸外へ出る機会を増やす。	6 か月	
4					か月	
5					か月	

事業所名 グループホーム風花 作成日: 平成 26年 6月 10日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】 取り組んだ内容 実施段階 該当するものすべてに 印) 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った 利用者へサービス評価について説明した 1 サービス評価の事前準備 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した その他(自己評価を職員全員が実施した 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った 2 自己評価の実施 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った その他(普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた 3 外部評価(訪問調査当日) 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た その他(運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った その他(職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) 5 サービス評価の活用 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する) 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む) その他(